

# 佐渡越後の文化交流史研究

研究代表者 萩 美津夫

## 1. 分担者

小林 昌 二  
芳 井 研 一  
矢 田 俊 文  
池 田 哲 夫  
橋 本 博 文  
鈴 木 孝 庸  
飯 島 康 夫  
原 直 史  
堀 健 彦

## 2. 協力者・所属

白 石 典 之・超域研究機構

## 3. 2006年度の研究活動の概要

2007年2月1日(木)午後4時30分～6時頃まで、総合教育研究棟A棟4階の実習室1において、研究会を開催した。研究発表は池田哲夫氏による「佐渡の民俗芸能 鬼太鼓の民俗」であった。参加者は3人とわずかであったが、残された絵図に描かれた資料による近世から現在行われている佐渡の鬼太鼓の淵源と系譜をめぐって活発な論議がかわされた。

#### 4. 2006年度の研究成果の概要

雑誌『佐渡越後文化交流史』第7号を刊行した。内容は、以下の通りである。

##### 論文

小林昌二「古代日本のシナノとコシ」

芳井研一「近代自治論の一系譜

— 伝統的自治論を転形させた山口千代松 —」

##### 資料紹介

池田哲夫「小林存著『郷土研究入門手帳』」

#### 5. 2006年度の研究成果の一覧

小林昌二「古代日本のシナノとコシ」

芳井研一「近代自治論の一系譜

— 伝統的自治論を転形させた山口千代松 —」

池田哲夫「小林存著『郷土研究入門手帳』」